

令和3年度 第2回 静岡県立天竜高等学校春野校舎 学校運営協議会議事録

- 1 日時 令和3年11月10日(水)
- 2 場所 静岡県立天竜高等学校春野校舎 応接室
- 3 委員 岩本 正義(学校後援会会長)
松島 賢(春野中学校教頭)
津村 公博(浜松学院大学教授)
中村 功(春野協働センター所長)
松本 常志(同窓会会長)
- 4 内容
 - (1) 校長あいさつ
 - (2) 遠隔授業参観(3年 生物基礎)
 - (3) 令和3年度「オンリーワン・ハイスクール」取組状況について
 - (4) 意見交換
- 5 議事録(要点)
 - (1) 校長あいさつ
 - (2) 遠隔授業参観
二俣校舎と遠隔システムを利用した授業実践を参観した。
3年 生物基礎「植生の遷移について」
 - (3) 令和3年度「オンリーワン・ハイスクール」取組状況について
今年度の主な取り組みとして
 - ① 「総合的な探究の時間」「課題研究」等における地域活動
 - ② 部活動等における地域活動
 - ③ 二俣校舎、春野校舎間での遠隔授業の研究
 - ④ 遠隔システムを用いた「天竜文学賞」の選考(生徒間交流)
 - ⑤ 遠隔システムを利用した別室授業の研究
 - ⑥ ①～⑤の取組についての広報活動 について説明をした。

意見等

- 遠隔システムは先生方の勤務状況の緩和が期待される。2名による授業なので、個別に支援ができるメリットもある。
- Zoomではタイムラグがあり、授業への活用は難しいと感じる。遠隔システムでは違和感がない。
- ぜひ軌道に乗せ、効率良い授業をお願いしたい。

(4) 意見交換

- 春野町は地域、学校、行政が一体となっている地域である。その点を生かしていきたい。
- 春野町には歴史・文化資産が多くある。また、体験施設等もあるのでこれらを生かしたい。
- 地元のことを学習する機会を多く持ちたい。農業や林業にも着目を。
- 高校生の新しい発想は地域に活気をもたらしてくれる。

その他

第3回は2月に開催する予定であることを連絡した。